

黒字に拍車

平局益々增收

平郵便局の十一年度に於ける

總收入額は六十五萬九千八

百四十九圓四十九錢で九年

度の六十三萬二千六百九十

三圓二十四錢に比較すると

三萬七千百四十圓九十錢

(五分九厘)の增收を見たが

本年度は更に黒字へ拍車を

加へる馬力を掛けているが

收入の主なるものは左の如

くである

△切手二十七萬四千百八

十六圓九十五錢△印紙二

十萬二千二百五圓四十九

圓八十七錢△郵便八萬九

千七百十圓四十二錢△電

話八十一萬九百十五

△郵便八萬九

△印紙二

懸念も一掃 愈よ本格的飛躍

校長

既報昨四日平水戸間で行はれた常磐線の流線型機関車の試運轉は最も懸念されて居た幅員の廣い流線型機関車とホームとの接觸もなく全テストを良好に終つたので急行を牽引して更に性能試験を行ふ事故がなければ本格的に常磐線行として飛躍する事になつた

愛國婦人協成

婦人會平分會幹部會は八日

既報郡下小學校長協議會は第一校長に次いで決算報告

伯爵の來平を好機とし來月七日開催と決定尙近く須賀町に開かれる縣下小學校協議會への提出問題を左の如く決定した

△協議題
一、縣下郡市に小學校教員を組織し全國聯合會に加入勸誘の件
二、教育靈塔建設に關する件

△建議題
一、義務教育年限の即時延長の件
二、義務教育年限の即時延長の件

△公立青年學校專任教員

俸給全額を國庫負擔にせられん事を文部大臣に建議するの件

△青年學校教授及訓練要目を速に制定せられん事を其筋に建議するの件

△農業試験場設立の件

花「旦那、お前さんは強い人だと思つてゐたが意氣地なしの臆病な人だねえ」
青木の屋敷にある例のお花が
花「旦那、お前さんは強い人だと思つてゐたが意氣地なしの臆病な人だねえ」
いつて笑つた、青木はこ

花「旦那、お前さんは強い人だと思つてゐたが意氣地なしの臆病な人だねえ」
八百松は青木のいふことを聞いて
松「氣に入つた、お前さんは改心の仕方が有難い、何の道命はなくまた家名も絶えず、それならばもう一度あればますぜ」

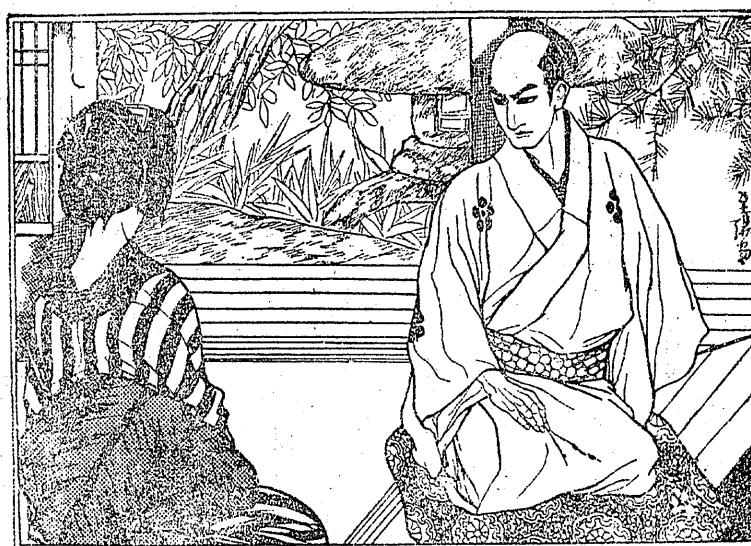
花「旦那、お前さんは立派な侍であります」
お侍でありますながら外へ出る時には大小をさし、鐵扇を持つてお仲間の方と一緒に

(歌舞上) 悟道軒圓玉 (作)
丸尾至陽 (書)



花「旦那わつちも一緒になつてあるもの、頼は友を以て集るとか、かうなると無法者ばかりが青木のもとに来るその筋の役人も青木には目をつけてゐるが屋敷はふみ込んでとらへることはならず、といつて外出する時は三人五人と黨を組んで往来する、何れも腕の利いてゐる強膽者ばかり、それ故御用聞や岡つ引きも目の前に青木の屋敷にある例のお花が

花「旦那、お前さんは強い人だと思つてゐたが意氣地なしの臆病な人だねえ」
いつて笑つた、青木はこ



に鐵扇を持つてゐることは居ますが、外に出る時も供をつれず、それに近頃は夫をしてお役人に唱まれておには呑んでゐませんよ、背中には拭いても消えぬ繪も描いてあるし、人の目に立ちますがそれでもそれでわたしは刃物を持つてゐませんよ、それをお前さんは大きさしたり鐵扇を持つて我物顔市中を往来すると喧嘩を賣りかけ、鐵扇をふるつて辛き目に合はせるまた江戸は入り込む浪士も青木の大膽に氣をのまれてその部下となると、浪士田主税に井田新之助といふものがその當時岡場所と申した制限外の遊廓深川に折り遊びに行き、仲間に綱打場また古石場などは繁昌したもので、古石場の遊女屋で遊び、そのもどりに汐見橋を渡るとブー、ブブといふ聲がする、それが耳につく、古田は井田に向ひ古「何んだらうらあはれは、毎時われ〜が戻つて来る」とブブーと申すが獸かな」といつた時に井田新之助が

古「ぶたを何にする」井「それな西洋人や支那人の食料にするためだ、ついでになつた當時豚を召上了たことがある、それで豚の異名がある」古「ウム、そんなことも聞いた、それにしても豚が叫ぶは耳についていかぬ」とひつゝ豚の飼育所に入つて來た。

安齊外科醫院

電話一〇番

山崎合名會社

△是 非！
三 井 質 店

平町・田町

電話四七五番

御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じます

宗正らひた

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二番)

上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

町寧 料金は極めて低廉で
姫産婦の御家庭
御病人の付添
炊事や雑用 年寄やお子さんの付添

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦派出します

歯科口腔外科
レントゲン科

院長 東京歯科 原精一

平町土橋通り
電話三一一番

原歯科醫院